

概要

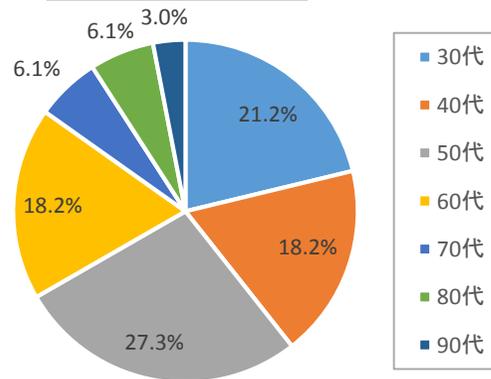
気候や災害の様相が変化していくおそれのある中で、従来の災害対策に加え、一人一人が一層災害リスクに向き合い備えていく必要があり、「防災4.0」未来構想プロジェクトにおいてより充実した検討を行うため、国民のみなさまが身近な防災に関して取り組まれていること等を募集。

募集期間：1月26日（火）～ 2月29日（月）

結果

全投稿件数：33件（その他Yahoo!意識調査投稿件数：80件）

年齢別投稿比率



投稿者の居住地

- 北海道
- 岩手県
- 福島県
- 群馬県
- 茨城県
- 千葉県
- 埼玉県
- 東京都
- 神奈川県
- 静岡県
- 愛知県
- 兵庫県
- 広島県
- 熊本県
- 宮崎県

投稿された主な意見

- 発災時の**安全な集合場所を家族間で決めている**。また、風水害は予報の精度が高いので、**早めの声かけ率先避難**を行っている。（50代 男性）
- 東京や大阪などの都会では、水害発生時の**地下街や地下鉄への浸水が特に心配**。水害に備えるため、自宅の30cm高上げた。（60代 男性 公益法人職員）
- 学校の生徒に自助パックとして**マイ備蓄**をさせている。マイ備蓄の中に何を加えるべきか話し合うなど、**防災教育**にも努めている。（50代 男性 公務員）
- 育児中のママさん、協同組合婦人部、自治会役員、地域にお住まいの方々の参加による**ワークショップで防災意識の高揚と地域力の向上**を進めている。（50代 男性 自営業）
- 自治体や国が助けてくれるという価値観が蔓延しているが、その**意識を変える**ことが重要ではないか。（50代 男性 大学教員）
- 災害直後は災害への備えを実行するが、日が経つと忘れてしまう。**防災教育や日頃からの備えが重要**ではないか。（40代 女性 会社員）